

平成27年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立岡崎小学校

校長名 府中 恵理

作成日 平成27年5月1日

学校教育目標

強いからだと豊かな心を養い、最後までよく考え、意欲的に生きる子どもの育成

育てたい子ども像

おもいやりのある子

(豊かな心)

かんがえる子

(考える力)

さきに行動する子

(実践する力)

きたえる子

(強い体と心)

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力
本年度の重点	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標の具現化に向けた取組を行うために、地域先達との協働による児童への指導・支援にあたる。 保護者や地域との信頼関係を深めるとともに、地域の関係団体等とも連携し、児童の健全育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育を柱に、教育活動全体を通じて、「豊かな心を持ち、よりよく生きようとする子ども」を育成する。 自分を大切にするとともに、他の人の良さに気づき、大切にしようとする心を育む中で、人権意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「楽しく、わかる授業」をめざし、個々を大切にした授業を行う。 授業や「学習タイム」、「フォローアップ」の取組等で基礎的な知識、基本的な考え方の定着を図る。 思考力・表現力を伸ばすための取組を行う。
目標達成に向けた具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> 児童と教職員が、常に（いつでも、どこでも、誰にでも）明るく、気持ちのよい挨拶ができるよう、教育活動全体を通じて取り組む。 広報誌や授業参観・学校行事等を通じて、児童の学校生活や教育活動等を保護者や地域に知ってもらう。 子どものことに関して保護者が相談しやすい環境をつくり、家庭との連携を密にした児童の健全育成に取り組む。 地域の関係団体等と連携し、児童が安全に登下校でき、学びやすい環境（通学路や災害時の安全を含む）をつくる。 児童の学年や発達の段階に応じ、地域の方々との交流を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳と他の教科等の時間を連携させた総合単元を組み、教育活動全体を通じた道徳教育を推進する。 道徳の時間等をとおして学習したことが、日常生活において実践に繋がる学びとなるよう教育研究を深める。 様々な教育課題を解決するための取組をすすめ、一人一人の子どもの個性を生かし、その可能性を最大限に発揮できるようにする。 様々な面において、児童の実態を十分に把握する。 縦割り活動を充実させ、異年齢の役割を意識して支え合うとともに、何事にも意欲的に取り組める心豊かな子どもを育てる。 学年に応じた心を耕す文学作品等に数多く親しませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材研究を深め、十分な準備のもと、楽しい・分かる授業をする。 「学習タイム」等で、計算スキルや語彙力を高めるために、全校で系統立てて取り組む。 思考力・表現力を向上させ活用力を付けるため「紀州っ子学びノート」等を活用し、考えを書く力や人前で話す力を伸ばしていく。 基礎的・基本的な学力の定着を図るため、支援員（市特別支援教育支援員・和歌山大学学生）を活用する。 フォローアップや家庭学習を充実させ、個に合わせ着実に学力をつけさせる。 基礎体力をつけるための取組を行う。